

# 図書館の窓から

浜田高校図書館  
H29.10.30 発行  
29-6号



ぐっと気温が下がり、冷え込む日が増えてきました。気がつけば周りの木々が紅葉し、空にはうろこ雲が浮かび、季節はまさに秋。秋は好きな季節の一つなのですが、年々「秋」と呼べる季節が短くなっているように感じます。束の間の「秋」を味わうためのお供として、本を手にとって見ませんか？

## 読書体験記コンクール 県審査結果

全国高校生読書体験記コンクールの県審査が行われ、結果が発表されました。



**優良賞 1年6組 山崎祐次郎くん 「繋がるということ」**

(読んだ本：『学校がアホらしいキミへ』 日高隆/著)

山崎くんの作品は、県内でいちばん高い評価を受けました。おめでとうございます！

『学校がアホらしいキミへ』は浜高図書館にも入っています。気になった人は早速読んでみましょう！

## ある日の読書記録 ～読書メモリーから～

7月に実施した朝読書週間後に皆さんが提出した「読書メモリー」から、目を引いたものをいくつかご紹介します。

### 『加工食品には秘密がある』

メラニー・ウォーナー/著 草思社

「加工食品に含まれている添加物が人体に及ぼす影響や、今はあたり前になっている加工食品がどうやってつくられているか知れる。自分は食に興味があるのでちょっと内容は難しいが、ためになる本だった。」

### 『告白』

湊かなえ/著 双葉社

「視点が次々と変わり、全体像を把握しやすかった。普通の人だんだん狂気に満ちていく様はとて恐ろしく、また予想外のラストに驚いた。」

### 『日本文化のしくみ』

「私は日本人ですが、知らない日本文化がたくさんありました。知っているつもりでも新しい発見があっておどろきました。特にお寺に関してのところはよくよみました。」

### 『すべてがFになる』 森博嗣/著 講談社

「現代文の授業で森博嗣の評論文を習ったので読みました。登場人物が、森博嗣の評論文のとおり客観的な考え方をされていて面白かったです。」

### 『沈黙の春』

レイチェル・カーソン/著 新潮文庫

「この本は主に環境について書かれていました。今、私たちが住みづらいつ感じている原因となるものは我々人類が作り出したもので、人類がこれから背負い続けるべき責任と義務を学びました。」

### 『高校生のための『いのち』の授業』

古田晴彦/著 祥伝社

「『いのち』について考えてもらうために死について筆者が考えたことをまとめた本です。日常について書かれている本でとても自分と比べることができ、日々の細かいところまで考えることができた。」

### 『遺体』

石井光太/著 新潮文庫

「この本を読んで、東日本大震災は本当に大震災であったのだと痛感した。おそろしい数の遺体を、医者や警察、歯医者など多くの人々が安置所に運び一体一体調べることを知り、正直、本当にこんなことがあったのかと未だに信じられない。」

### 『消えたい』

高橋和巳/著 ちくま文庫

「すべて読みきれなかったが、虐待のおそろしさを改めて感じた。虐待された方の感情と私たちの感情には少しのずれがあるということを知った。今こうしてごくごく普通に生きているということが幸せだと気づいた。」

### 『新編銀河鉄道の夜』 宮沢賢治/著 新潮社

「ジョバンニとカムパネルラの2人の仲の良さがとてもさわやかでした。また、この未完成の作品に、未完成ゆえの魅力を感じました。つづきはなんだろうみたいな。」

### 『君の臓腑を食べたい』

住野よる/著 双葉社

「恋愛ものの小説なのに、どこかさみしさを感じるものでした。人と向き合うことの大切さを教えてもらえる本だと思いました。」

### 『千代に八千代に』 重松清/著 全国SLA

「友達の大切さをあらためて実感した作品でした。自分が年をとっても友達でいてくれる人がいたらとても幸せだと思いました。」

### 『キミの目が覚めたなら 8年越しの花嫁』

中原尚・麻衣/著 主婦の友社

「プロポーズして結婚式を間近にしての急な病気の発覚。1年も植物状態、意識が戻ったと思っても知能は赤ちゃんレベル。そんな彼女を8年も待ち続けるのはすごいと思う。『待たないということは考えなかった』という言葉が心に残った。」

### 『これからの世界をつくる仲間たちへ』

落合陽一/著 小学館

「これからやってくるであろうシンギュラリティに備えるため中高生向けに何をすればよいか具体的に知ることができた。とても参考になった。」

### 『きみといつか行く楽園』

アダム・ラップ/著 徳間書店

「主人公の11歳の少年、孤独だったブラッキーが“大丈夫、ぼくがきみを守るから”と決意をするほど他人を思いやることができるようになる。いつかきっと、ブラッキーとメアリ、ジェーンが楽園で仲良く手をつなぐ日が来るといいなと思いました。」

### 『羅生門』

芥川龍之介

「老婆の『悪いやつには何をしても許される』という発言が気になりました。この本を通じて人は落ちぶれた時、どんな行動に走るかということが分かりました。」

### 『わたしが正義について語るなら』

やなせたかし/著 ポプラ新書

「私が一番印象に残ったのは『傷つくことなしには正義は行えない』という言葉です。私も共感する部分がたくさんあっておもしろかったです。」

### 『ぼくらは「生物学」のおかげで生きている』

金子康子/ほか著 実務教育出版

「ぼくがこの本を読もうと思ったのは、帯にあるクローンのことがきっかけでしたが、他のものも読んでいくととてもおもしろかったです。クローンを三毛猫でやっても同じ猫はできないんだと分かった。」

### 『よるのばけもの』 住野よる/著 双葉社

「最近の中学生・高校生の共感できるような悩みや考え方が細かく書かれていて、共感しながらこの本を読むことができました。」



【進路・小論文対策】

**376『今から間に合う推薦・AO 入試面接』**宮岡政徳/著

**376『ゼロから 1 カ月で受かる大学入試面接のルールブック』**神崎史彦/著

**602『会社四季報業界地図 2018 年版』**東洋経済新報社/編

**816『小論文これだけ! 今さら聞けないウルトラ超基礎編』**樋口裕一/著

【情報】
**007『11 歳からの正しく怖がるインターネット』**小木曽健/著
★ネットを安全・安心に使うための「絶対に失敗しない方法」をわかりやすく紹介。

【博物館】
**069『ぐるぐる博物館』**三浦しをん/著
★国内の個性あふれる博物館を探検するルポエッセイ。

【宗教】
**※167『図説イスラーム百科』**キャロル・ヒレンブランド/著
★一般のムスリムの信仰や生活にかかわる事項を中心に解説。

【歴史】
**※209『「謎トキ」世界史写真・絵画が語る歴史 東洋史編/西洋史編』**清水書院編集部/編
**※210『「謎トキ」日本史写真・絵画が語る歴史』**清水書院編集部/編
★歴史上のできごとを理解するのに役立つ写真&絵が満載。

【伝記】
**289.1『人はなぜ星を見上げるのか』**高橋真理子/著
★20 年もの間、プラネタリウムや星・宇宙を仕事のパートナーとしてきた著者。「星と人をつなぐ」仕事をするに至った背景と、20 年間の多くのかげがえのない出逢いによって生み出された仕事の記録を綴る。

【紀行】
**290『スマイル! 笑顔と出会った自転車地球一周 157 カ国、155,502km』**小口良平/著
★襲いかかる事故・強盗・感染症などのトラブル、死の淵から救ってくれた人々の温もり、世界中で通じる“魔法の3つの言葉”…。自己嫌悪に悩む青年が成し遂げた、約8 年半の「自転車地球一周」の旅の記録を綴る。
**※291『365 日日本一周絶景の旅』**

TABIPPO/編

★日本全国 365 カ所の奇跡の瞬間を集めた写真集。絶景にまつわる歴史や文化の解説、絶景が見られるベストタイム、地図も掲載。

【経済】
**※338『地方銀行消滅』**津田倫男/著
★全国の地方銀行が人口減少による経営先細りに苦しみ、統合・再編に走り始めている中、生き残る銀行はどこか。

【社会】
**※361『都道府県ランキング vol.1/2』**
★vol.1 は生活に関するランキング、vol.2 は消費量・行動時間に関するランキングを掲載。各自治体の現在の傾向を知りたいときに。

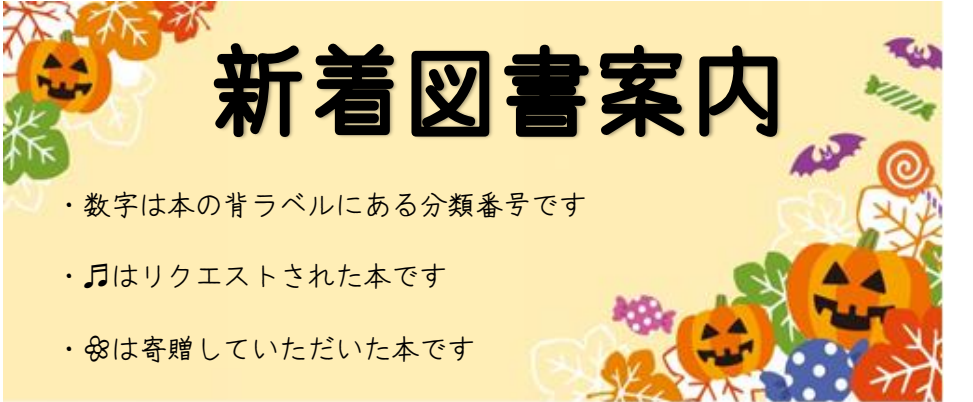
【教育】
**375『つまずきたくない人いまから挽回したい人のための高校の勉強のトリセツ』**船登惟希/著
★高校の勉強の「トリセツ」を、マンガやイラストを交えて解説。
**※376『ナスカイ』**梅佳代/著
★福島第一原発事故の影響等で閉校する那須高原海城中学校・高等学校の生徒の写真集。「ありふれた青春」がぎゅっしり。

**※378『知的障害児・者のスポーツ』**丹野哲也/監修
★知的障害児・者が、生涯にわたってスポーツに取り組むための実践を紹介。

【自然科学】
**※410『ビジュアル数学全史』**クリフォード・ピックオーバー/著
★美しい写真と図版が満載の、数学と人間の壮大な歴史物語。
**451『トコトンやさしい異常気象の本』**日本気象協会/編
★異常気象のメカニズムや過去の事例、地球温暖化による影響や防災について解説。

【動物】
**489『ツキノワグマ すぐそこにいる野生動物』**山崎晃司/著
★浜田市内にも生息するツキノワグマ。その生態をとらえ直し、管理や保全のための試み、これからのつきあい方を考える。

【医療】
**※493『お母さん、お父さんどうしたのかな?』**トウツティ・ソランタウス/著
★お母さんやお父さんがこころの病気になったとき、子どもによくある悩みや疑問に答えるハンドブック。



・数字は本の背ラベルにある分類番号です

・♪はリクエストされた本です

・※は寄贈していただいた本です

【栄養】
**498.5『おいしい病院食は、患者を救う』**葉袋摩耶/著
★「日本一おいしい」病院食を作った管理栄養士をはじめ、業界を動かしたキーパーソンに「美味しい病院食」の背景を訊く。

【環境問題】
**※519『環境破壊図鑑』**藤原幸一/著
★環境破壊の現状を5 大陸からレポートし、こわれゆく地球との向き合い方を考える。

【料理】
**596『くり返し作りたいおかず』**主婦の友社
★家で食べたい人気おかず 145 品を厳選し、おいしい配合や作り方のポイントを解説。

～\*～ シリーズ最新刊入りました ～\*～
**※913『ロスジェネの逆襲』『銀翼のイカロス』**(半沢直樹シリーズ) 池井戸潤/著
**913『櫻子さんの足下には死体が埋まっている 12』**太田紫織/著
**913『マスカレード・ナイト』**東野圭吾/著
**※913『水族館ガール 4』**木宮条太郎/著
**913『君の知らない方程式 BIS ビブリオバトル部 4』**山本弘/著

～\*～ 『アート・ビギナーズ・コレクション』西洋編入りました ～\*～
『もっと知りたい〇〇』のタイトルでおなじみの、芸術家の生涯&作品を知るための入門書。今回入ったのは以下の13 冊。
『もっと知りたいレオナルド・ダ・ヴィンチ』『もっと知りたいエミール・ガレ』『もっと知りたいゴッホ』『もっと知りたいフェルメール』『もっと知りたいミュシャ』『もっと知りたいルネ・ラリック』『もっと知りたいモネ』『もっと知りたいポツティチェリ』『もっと知りたいゴーギャン』『もっと知りたいルノワール』『もっと知りたいレンブラント』『もっと知りたいセザンヌ』『もっと知りたいクリムト』

図書館日和
先日、日本出身のイギリス人作家、カズオ・イシグロ氏がノーベル文学賞を受賞されました。何年か前のことですが、先輩(公共図書館で働く司書)に「何かおもしろい本を紹介してください!」とお願いしたところ、紹介されたのがイシグロ氏の『わたしを離さないで』でした。そのため、今回の受賞はなんだか感慨深いものがありました…。
浜高図書館には、『日の名残り』『わたしを離さないで』の2 作品が入っています。興味を持った人はぜひ手にとってみてください!!

作品、人物、用語などを収録。

【スポーツ】
**783.4『サッカーなら、どんな障がいも超えられる』**江橋よしのり/著
★障がい者サッカーの日本代表選手がサッカーとの出会いや熱い思いを語る。7 つの障がい者サッカーの特徴とルールも紹介。

【言語】
**※801『くらしの中のマーク・記号図鑑』**
★普段、目にする機会の多いマーク・記号の図鑑。新しい洗濯表示も載っています。
**※801『都道府県別全国方言辞典』**佐藤亮一/編
★各地の方言を都道府県別に例文付きで収録。語句・例文の意味だけでなく、「県内の地域差」「文法的な特色」なども詳しく解説。
**※863『プログレッシブスペイン語辞典』**鼓直/ほか編
★スペイン語学習に十分な2万5000語を収録。

【日本の小説】
**913『I Love Father』**冲方丁/ほか著
★人気作家5人が、「父」にまつわるミステリーを綴ったアンソロジー。
**913『パドルの子』**虻川枕/著
★中2の水野耕太郎は、旧校舎の屋上に広がる水たまりを見つける。そこで泳いでいたのは、水泳部の水原だった。ひとつずつ世界を変えていく2人だったが…。
**913『AX』**伊坂幸太郎/著
★「兜」は一流の殺し屋だが、家では妻に頭が上がらない恐妻家。家族のために引退を考える中、思いがけない襲撃を受ける。

**913『駅鈴(はゆまのすず)』**久保田香里/著
★メールも電話もない時代、駅鈴を鳴らし、馬で駆け、急を知らせた人たちがいた。近江国(滋賀県)を舞台にした奈良時代の物語。
**913『月の満ち欠け』**佐藤正午/著
★自分が命を落とすようなことがあったら、もういちど生まれ変わる-。この娘が、いまは亡き我が子? いまは亡き妻? いまは亡き恋人? そうでないなら、はたしてこの子は何者なのか。-<直木賞受賞作>
**913『君が夏を走らせる』**瀬尾まいこ/著
★金髪にピアスでふらふらしている少年・大田が、先輩の子どもの面倒をみる羽目に。なんとかひと夏を乗り切ろうとする大田の、出会いと別れの物語。
**913『影裏』**沼田真佑/著
★会社の出向で移り住んだ岩手で、ただひとり心を許した同僚。いつしか疎遠になった男のもう一つの顔に、「3.11」以後、触れることになるのだが…。-<芥川賞受賞作>

**※913『おはなしして子ちゃん』**藤野可織/著
★小学校の理科準備室に閉じ込められた私にホルマリン漬けの瓶に入った“あの子”が、一晩中お話をせがんできて…。
**099.3『明治乙女物語』**滝沢志郎/著
★明治中期、高等師範学校女子部に通う夏と咲たちは、鹿鳴館の舞踏会に招待を受けるが、そこには暴徒の手が忍び寄っていた。

【日本のエッセイ・ルポルタージュ】
**914『風とともにゆとりぬ』**朝井リョウ/著
★レンタル彼氏との全面対決、災難続きのホームステイ…。笑えるエッセイ集。
**916『顔二モマケズ』**水野敬也/著
★「見た目が9割」の現代社会で、幸せに生きるための方法とは? 顔や外見に症状を持つ人たちが、人生に起きた出来事を乗り越えて幸せをつかんだ物語を紹介。

【外国文学】
**※932『シェイクスピア大図鑑』**スタンリー・ウエルズ/ほか著
★シェイクスピアの戯曲と詩の総括的なガイドブック。それぞれの劇について、作品の内容を詳しく解説。

**933『もうひとつの WONDER』**R.J.パラシオ/作
★いじめっ子ジュリアン、幼なじみのクリストファー、同級生のシャーロット。3人の「ふつうの子」が、生まれつき顔に障害のあるオーガストと出会う。「ワンダー」(←浜高図書館にあります)のスピノフ作品。
**933『青い目の人形物語 アメリカ編/日本編』**シャーリー・パレントー/著
★1920 年代、アメリカと日本の子どもたちのあいだで「友情の人形」が交換された。歴史上の事実をもとに、アメリカ・日本それぞれの子どもの姿を描く。

**933『スピニー通りの秘密の絵』**L.M.フィッツジェラルド/著
★美術の英才教育を受けてきた13 歳の少女セオが、セレブ女子ボーディとともに秘密の絵の鑑定に挑む。

**※993『ルミッキ 1～3』**サラ・シムツカ/著
★しなやかな肉体と明晰な頭脳をもつ少女、ルミッキ。犯罪事件に巻き込まれたルミッキは事件の謎に迫るが、同時に彼女の封印された過去が解き明かされる。

